

**S-1 種**  
高橋晶子 設計

南面には室内の明るさと通風を考慮した大きな窓、北面には住戸からの明かりが豊かに廊下にもおちる透過性の外壁

**集会所**  
福澤工ミ 設計

精神の安らぎを得られる憩いの場の象徴として、又建物自体がある種の非日常空間、一つの詩的な造形物として存在

**S-2 種**  
クリスティン・ホーリィ 設計

中庭への様々な角度からの眺望を揃え、中空に架けられた橋のように、階段から各住戸へと至るアプローチ

**S-3 種**  
エリザベス・ディラー 設計

蛇腹のように緩やかなカーブを描き、南北面を覆うメンブリングパネルにより、「プライバシー」と採光をコントロール

**S-4 種**  
妹島和世 設計

共同住宅でありながらも、戸建のような屋外生活を楽しめる空間〈テラス〉を全ての住戸に配置

**中庭**  
マーサ・シュワルツ 設計

太古の世界から糸貫川に覆蓋され続けてきたこの地の自然史をたどるよう、石や樹木、「room (ルーム)」と名付けられた空間により構成

